

■学生の皆さんも大活躍■

◆医師の卵たちファミリーハウスを勉強

六月七日、北海道大学医学部の学生が「実習」の一環として当会を訪れました。



事務局を訪れた北大生の皆さん(左)

この実習は、北海道大学医学部が将来医師になる学生に対して、「やさしさ」「あたたかさ」「ていねいさ」を身につけるために行われているもので、医学部二年生の福田篤さんと両坂誠さんが訪れました。金田事務局長から、ファミリーハウス運動の歴史や現状について説明し、この運動には病院関係者の理解と協力が欠かせないことを伝え、二人は緊張の中にも真剣に耳を傾けていました。この後も実習で多くのことを学び、患者さんに信頼される医師になることを願っています。

◆日本大学工学部建築学科野村研究室は建築学の視点からファミリーハウスをサポート

日本大学理工学部建築学科野村研究室よりアンケートの要請を受け、オーナーの協力を得て対応しました。アンケートの目的は、「滞在施設と滞在中の生活現状を建築学的な視点から把握し問題と対策を提案することにより、家族生活を支援する」としています。

ファミリーハウス運動は多くの皆様に支えられています。学生の皆さんボランティアに参加しませんか

◆北海道大学医療技術短期大学看護学科三年生が社会実習で事務局を訪れました

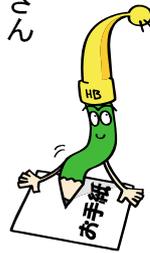


ファミリーハウス運動を熱心に勉強した皆さん

十一月二十四日、北海道大学医療技術短期大学で看護師をめざしている仲井貴雅さん、佐藤万梨乃さん、松井真美さん、多田ちはるさんの四名が事務局を訪れ、社会実習の一つとしてファミリーハウス運動について熱心に勉強されました。

■十勝管内清水町のYさん

オーナーさんの心づくし、身に染みて有り難く厚くお礼を申し上げます。娘の看病ができました事を心から感謝しております。次の手術の時もよろしくお願い致します。



■ご両親・弟妹・祖母五人で二部屋ご利用されたAさん

先日は、大変お世話になり有難うございました。お陰さまで、息子は八月二十日の始業式から元気に登校することが出来ました。まだ何かと制限のある生活ですが、お友達と一緒に学校生活を送れる日々に感謝しています。大変な事もありましたが、私達家族にとつて、この夏は何年間分にも値する夏となりました。慣れない土地で、心温かくして頂きました事、大変有り難く思っています。これから先、またお世話になる事もあるかも知れませんがその折はどうかよろしくお願い致します。

■利用者の皆様からお礼のお手紙をたくさんいただきました■

■函館市の方

残暑お見舞い申し上げます。北海道も例年にならない暑い日が続いていますがお元氣ですか。ファミリーハウスのお陰で私共夫婦が娘の看病が出来た事に感謝致します。娘が白血病になり、函館で五ヶ月治療し、北大で骨髄移植のために四ヶ月の闘病生活を送り帰りました。現在外来で治療を続けていますが元氣です。退院後の検診で北大に行つた帰りに寄せて頂きましたがお留守でした。早く御礼をと思いつつ遅くなりましたことお詫び申し上げます。まだ、暑い日が続きます、御身体大切に、まずは御礼までありがとうございます。

■ご主人が入院奥様にご利用。紋別市の方

札幌へは昨年の暮れから行つたり来たりしておりましたが、今回は、私の体調がとても悪く真駒内の息子の家からは、いつもの様に通えませんでしたのでとても助かりました。今後も検診で時々出札しますので短い日数で申し訳ありませんが、宜しくお願ひ申し上げます。

■徳島県Aさん

誰一人知り合いのいない北海道に行つて親切にして下さつてとても嬉しかったです。元氣になつて今度は遊びに行きたいと思つております。

■仙台市の方

オーナーさんのお陰で安心して札幌での生活を送る事が出来ました。お体に氣をつけてこれからたくさんの方々の力になつてあげて下さい。私もいつかボランティアしたいと思つています...

プライバシーを守るためお名前は掲載しておりません